

IT導入支援業者に 各システムが補助金対象

光和コンピューターはこのほど、経済産業省が主導するIT導入補助金「サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金」の支援事業者として採択された。

同社が開発した書店向けレジシステム「KPOS」「KIPPOセルフ」や、出版社向け「出版ERPシステム」「販売管理システム」「PUBN A V I (パブナビ)」な

どの登録を完了した。ソフトウェア費、導入関連費に適用する補助金には「通常枠」と「デジタル化基盤導入類枠」がある。補助金枠は通常枠A類型が5万〜150万

円未満、同B類型が150万〜450万円未満。賃上げ目標が必須条件とされている。補助率は2分の1。

また、デジタル化基盤導入類型はインボイス制度を見据えたデジタル化を推進するもの。会計・受発注・決済・ECソフトに加え、PC、タブレット、レジなどの導入費用を支援する。

会計、受発注、決済、ECのうち1機能以上・1件当たりの補助金枠は5万〜50万円以下。補助率は4分の3以内。2機能以上1件当たりの補助金枠は50万〜350万で、補助率は3分の2以内。通常枠よりも補助率が低い。

「PUBN A V I」は光和コンピューターとメディアドゥが共同開発した「電子書籍売上げ、印税管理システム。昨年6月に発売した。

電子取次・書店からの売上報告フォーマットに対応して管理できる。著作権者ごとに異なる印税の契約やその額の算出、支払い処理など野機能を用意している。初期登録料は5万円。月額利用料は電子書籍の実績規模により異なる。

光和コンピューターは、出版社や書店の申請手続きをサポートしていく。問合せ先は☎03(3865)1981、同社ソリューション営業部まで。